

会 議 録

1 会議名

平成30年度 第1回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○自主的審議事項について

(2) 報告事項（公開）

○平成30年度総合事務所の体制について

○地域活動支援事業の応募状況について

(3) その他（公開）

3 開催日時

平成30年4月19日（木）午後6時40分から午後7時16分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：井部辰男（会長）、関川正平（副会長）、石野敏、上村閨一、笠原昇治、佐野喜治、滝本篤透、西巻肇、芳賀芳明、橋本博太、船木貴幸、望月博、山本誠信、横山一雄（委員16人中14人出席）
- ・事務局：頸城区総合事務所 橋立所長、石野次長、八幡市民生活・福祉グループ長、稲田教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ 村山班長、田中主査、古川主任（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【石野次長】

- ・会議の開催を宣言

【井部会長】

- ・挨拶

【石野次長】

- ・佐藤委員、山本光夫委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：佐野委員、関川委員に依頼

【井部会長】

- ・協議事項「自主的審議事項について」事務局に説明を求める。

【村山班長】

- ・事務局より説明

【井部会長】

今ほど事務局から話があったように前回の地域協議会で一つの区切りとして、自主的審議事項として取り上げた「大池・小池の観光資源としての利活用について」現状、課題、解決をしていくにはどういふことがあるのか整理させていただいた。内容的には大きく変わってないので、こうした内容でこれから具体的にどうするかという所に入って行きたいと思うがよろしいか。

【石野委員】

非常に立派な資料になっているし表現もこれで問題ないと思うが、⑥の解決策案に、前回は安全という文言を入れていただいたが、今回はそこが割愛されているのでその辺を入れ込んでいただきたい。

【村山班長】

雁金城跡に、より多くの人から安全に訪れていただくことを前回は書かせていただいたので、そこを再度取り入れた形で表現させていただくということをお願いしたい。

【井部会長】

安全対策も含めて、この文言の中に入れることでいきたいと思うがよろしいか。

【全委員】

了解。

【井部会長】

他にないか。

【船木委員】

④の釣りやキャンプの件で課題の中には是非入れてもらいたいのが、大池は冬期になると水量が減って崖になる。ストーンと落ちているので、そこに釣り客が落ちてしまうと這い上がれなくなるという危険もあるので、釣りをして良い場所と危険な場所というのを分けるような安全対策も盛り込んでほしい。

【井部会長】

いずれにしろ前から安全対策についての課題として出ていたので、雁金だけではなく大池、あるいは大正山も含めて入れていくことにしていってらどうか。

【村山班長】

今ほどの安全面については、石野委員から言われた解決策案については事務局で割愛させていただいたので、それについては入れ込んでいきたいが、内容検討表を作成するにあたって根本的な最初の話で芳賀委員から全体の安全面が第一だと話があった。それについて入れ込むか入れ込まないかという話もあったが、①から⑥まで全てについて共通している事項で、あえて課題には入れないで整理をさせていただいた。

今後、全体論として整理していく上で、統一した中で安全面という形でどうかと事務局では考えている。

【井部会長】

具体的にはどうするのか。

【村山班長】

具体的にはこれの上に、最後に総括表のような資料を付けるので、その中で安全面という文面を取り込んでいきたいと考えている。

【井部会長】

そういう方向で対応するというので事務局が答えているのでよろしいか。

【全委員】

異議なし。

【西巻委員】

船木委員から水位の件について意見があったが、大蒲生田にもため池があるので冬場は水位を下げている。なぜかというところの堤の保全ということで年中満水にしておくと

堤にかかる力が大きい。大池・小池はどれくらいの設定になっているかわからないが土地改良区との検討も必要になってくる。

【井部会長】

他になければ自主審議の現状、課題、解決策案については一区切りとしていきたい。この他にこういう所を付け加えたらということがあれば事務局にご連絡をいただきたい。

もう一つは現地視察と地元を含めた意見交換会をするということで前回提案をさせていただいた。その後、このような天候の中で農繁期の最中に入っているということもあり、なかなか地元の方もお集まりいただくのは大変だということになった。

もう一つは地域活動支援事業が既に締め切られ、これから具体的に審査に入るといふ二つがあり、若干延期をさせていただくという提案があった。

来年度の市の予算編成に間に合うようなスケジュールで進む必要があるので一ヶ月ぐらい延期するか。

これについては異論ないか。

改めて事務局にスケジュールの説明を求める。

【村山班長】

この後、地域活動支援事業の状況を報告させていただくが、地域活動支援事業の今後の取り組み状況、資料を見ていただければ金額が足りないのがわかるので、二次募集を行う、行わないも含めて状況が変わってくるので、それらを踏まえた中で改めてスケジュール案をお示ししたい。

【井部会長】

お聞きのように地域活動支援事業の審査があるので、それらも含めて今後の自主審議のスケジュールも合わせてお示しをするということにしたい。

【全委員】

了解。

【井部会長】

以上で、協議事項「自主的審議事項について」を終了する。

引き続き、報告事項「平成30年度総合事務所の体制について」事務局より説明を求める。

【石野次長】

- ・資料2について説明

【井部会長】

次に、「地域活動支援事業の応募状況について」事務局より説明を求める。

【古川主任】

- ・資料3について説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求める

【佐野委員】

漠然とした質問になるが、予算に満たない提案状況で、前回二次募集、三次募集はなるべくやめようというような意見があったかと思うが、その辺をどうしたらいいか思案しているところである。100何万円を何らかの方法でアピールし、採択前に追加募集をして、一括で採点できるような形にならないか。

【井部会長】

募集額が満たないから期間を延ばしての再募集は考えられないが、佐野委員が言われるのは100万円まだある、だからもう一回再募集みたいなものをやるか、あるいは提案した13団体にもう少し中身を検討してたくさん出してと、非常にゆとりのある言い方である。これはこれ、再募集は再募集ということになると思う。

地域協議会の皆さんで決めてもらって進めるべき課題なので、今の様な佐野委員の提案もあるがご意見を聞きたいと思うがいかがか。

事務局に今後の進め方の説明を求める。

【村山班長】

佐野委員に対する私見だが、11団体13事業の提案をいただいているが、その年だけに限って、理由があるので追加募集はどうかという言い方は公平感に欠けると思うので、会長が言われたように今回は今回、二次募集するとなれば二次募集ということになると思う。

現実問題として、事務所に相談に来ていただいている中で一次募集に町内会の合意、同意が間に合わなくて応募できなかったが、二次募集があれば考えたいという人がいるということも事実である。

【井部会長】

いずれにしろ、それぞれ皆さんに公平に機会を与えるということとすれば、一次は一次で締めて、残額が出れば二次募集ということで行きたいと思うが異議ないか。

【全委員】

異議なし。

【井部会長】

他にないか。

【石野委員】

じっくり資料を見比べればわかると思うが、13件あるうち今回初めて提案されたところがわかったら教えていただきたい。

【古川主任】

今回、事業No.2の「公民館明治分館協議会」が新しく申請をいただいている。

事業No.10「マリンドリームズやちほ」という団体は、こちらは今までずっと八千浦区で補助を受けていたが、構成員のほとんどが頸城区と大湊区の児童が占めているので、それぞれに分けた形で申請をするという形になっている。

継続事業とNo.5の卓球大会に関しては、同じ団体が全く新しい事業ということで提案している。

No.13も去年と同じく頸城活性化プロジェクトで、No.12は去年と同じ事業で、No.13は新たな取り組みということで提案いただいている。

【井部会長】

他に無いようなので、今後のスケジュールについて次長に説明を求める。

【石野次長】

今後のスケジュールについては、100万円から余っている状況もあり、会長が先ほど話された概ね一ヶ月から二ヶ月ぐらいは延びるだろうということで、スケジュールも練り直したい。

【井部会長】

この次の二次募集を想定すると、少し延びるだろうということでとりあえず一次で出された13件について、これからプレゼンを受けて審査するという進めていったらどうか。

これについてご異論ないか。

【石野委員】

前回、全体のスケジュール表をいただいたが、その中で個人的な要望で、プレゼンは5月7日から9日の3日間のどこかでやろうという案内だった。できれば今日の席でプレゼンの日だけでも決めていただきたい。

【石野次長】

次の協議会の日程を会長と協議させていただいた結果、5月9日(水)、時間は30分早めの18時からの開始を考えている。

【井部会長】

日程として13件のプレゼンは5月9日(水)18時からで進めたい。

プレゼンの中で昨年の9月第7回の地域協議会の時に石野委員から、地域協議会委員がプレゼンに参画をするのはいかがなものかという意見があった。この件については、前年と同様の採択方針で変更なく決定してきている経過からすれば、あまり好ましくはないが、今回は従来通り、どうしてもプレゼンをやらざるを得ないという人もいようなので、それはそれでやむを得ないということで進めていきたいと思うがこれについてはどうか。

ご異論なければ、方針の中で決定通り今までと同様、地域協議会委員の中でのプレゼンテーションをする方もいるという事を前提で進めたいがよろしいか。

【全委員】

了解。

【井部会長】

ただあまり好ましくないので、3人ぐらい別の方からしてもらえれば良いのではないかと思います。

「地域活動支援事業の応募状況について」は、以上で終わりたい。

次に、その他に入る。

その他については、今ほど次長が次回の第2回地域協議会は、プレゼンを実施する5月9日(水)18時ということで提案があり、皆さんから決定いただいた。

その他について何かあるか。

【上村委員】

掘り返すような話で恐縮だが、先ほど協議事項の中で自主的審議については概ねこれできいこうと会長から話があつて、実際現場も改めて見てという話があつたが、いよいよ私も地域協議会で自主的審議が総括を迎える時期になったわけで、以前の地域協議会の中で橋立所長からボランティア団体も一緒に平行に進めた方がいいのではというような発言があつたと記憶している。そういう部分で何らかの形ですぐはできないと思うが連絡協議会を立ち上げて前向きに進んでいただければと思っている。

【橋立所長】

地元、ボランティア団体、市、その他もあるかと思うが、その方々が全体となって地域を盛り上げていく、大池・小池を盛り上げていくという形を作っていたら一番良いのではないかと思う。そういう考え方の中で地域協議会委員の皆さんの意見をいただければと考えている。

【井部会長】

いずれにしろ各種団体が盛り上がってみんなで何とかしようということが必要。そのための火付け役を地域協議会がやるということだろうと思うので、きちっとして解決策を市に提案をしながら、同時に地元もやっていただくような体制作りにもいろいろと意見を述べていったらいかかと思う。

- ・委員に質疑等を求めるがなし。
- ・会議の閉会を宣言。

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-530-2311 (内線 212)

E-mail : kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。